

2025年度 授業コード: 13109100

授業科目	観光産業論					実務家教員担当科目	-		
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期		
担当教員	角谷 尚久								
授業概要	<p>観光産業とは、観光関連産業の総称である。各産業により事業内容は大きく異なっている。本講義においては、航空産業や旅行産業での25年以上の実務経験を活かして、まず各関連産業（旅行業/宿泊業/航空運送業/飲食業/公園・遊園地）においてその現状を具体的に俯瞰した上で、共通の経営手法や課題について学習する。</p> <p>映像を用いるとともに外部講師による講義を行う場合がある。</p> <p>本科目は講義形式にて行うがアクティブラーニングの手法を取り入れ、毎講義ごとにレスポンスシートの提出を求める。</p> <p>実務家教員として、航空産業や旅行産業での25年以上の経験を活かして、社会人になる為の意識改革、基本的実務を教授する。</p>								
授業形態	対面授業（一部オンデマンド）			授業方法	対面およびオンデマンドにて授業を行う ICTを活用し、Google クラスルームによる理解促進並びに自主学習支援を行う				
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	<p>1. 観光産業の定義を理解できる。</p> <p>2. 観光産業全般、並びにそれを構成する各個別産業の特性を把握する。</p> <p>3. 各産業の担う役割や経営手法を理解することができる。</p> <p>観光が社会に果たす役割の重要性を理解し、観光産業の現状と課題、将来への展望などを理解する。</p>								
理想的レベル	観光が社会に果たす役割の重要性を理解し、将来、旅行産業・観光産業において経営者等中核的な役割を担う人材となる。								
評価方法・評価割合									
評価方法		評価割合（数値）				備考			
試験		50							
小テスト									
レポート		25							
発表（口頭、プレゼンテーション）									
レポート外の提出物									
その他		25				授業参画意欲			
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
該当部分の復習								4	
授業計画									
第1回	<p>オリエンテーション</p> <p>シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明</p>								

第2回	観光産業の特性と概要（Ⅰ） - ①観光とは ②観光産業の理解
第3回	観光産業の特性と概要（Ⅱ） - ①観光産業の種類 ②観光産業の特性
第4回	産業別考察 -旅行業（Ⅰ） - ①旅行業の歴史 ②旅行業の概要
第5回	産業別考察 -旅行業（Ⅱ） - ①旅行業の種別 ②団体旅行の変化とパッケージツアー
第6回	産業別考察 -旅行業（Ⅲ） -（Ondemand） ①旅行マーケットの変化 ②今後の旅行業
第7回	産業別考察 -航空輸送業（Ⅰ） -（Ondemand） ①航空輸送業の歴史 ②シカゴ条約
第8回	産業別考察 -航空輸送業（Ⅱ） - ①航空輸送業の特性 ②オープンスカイとLCC
第9回	中間まとめ
第10回	産業別考察 -宿泊業（Ⅰ） - ①旅館業法の定義 ②旅館の特徴
第11回	産業別考察 -宿泊業（Ⅱ） - ①ホテルの歴史 ②ホテルの特徴
第12回	産業別考察 -飲食業（Ⅰ） - ①食文化の違い ②フードビジネスの仕組み
第13回	産業別考察 -飲食業（Ⅱ） -（Ondemand） ①飲食業の産業化 ②チェーンシステム概念と類型
第14回	産業別考察 -公園、遊園地-（外部講師） ①遊園地・テーマパークの歴史 ②総合保養地域整備法
第15回	まとめとテスト
テキスト	『観光学基礎』（株）JTB能力開発

参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	レポート、授業への参加度を踏まえ、テスト結果とあわせて総合的に判断する。 成績発表後に評価点分布図を提示する。
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	観光産業とは何かを理解するために、まず「観光とは何か」について理解しておく必要がある。 本講義はそのような切り口からはいい、「産業としての観光」の特性や概要について学んでいく。 そのために専門用語などを事前学習すること。 ・シラバスは授業の進行状況により変更することがありますので、予めご了承ください。 ・毎回の授業内容を復習し、次回までに専門用語の意味等を理解しておくこと。
学生への メッセー ジ・コメ ント	